

## 「帖佐小学校の帖佐八幡神社浜下り伝承活動の取組」

1. 学校名	始良市立帖佐小学校
2. 学年・人数	児童・生徒・保護者・地域の方々・職員 総勢140人（参加児童数約30人）
3. 日時・場所	令和7年11月2日（日） 帖佐八幡神社～御門神社
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	<p>(1) 名称 始良市指定無形民俗文化財「帖佐八幡神社浜下り」（ちょうさはちまんじんじゃはまくだり）</p> <p>(2) 由来 帖佐八幡神社浜下りは、帖佐八幡神社から御門神社まで巡行する行事である。鎌倉時代、京都石清水八幡宮の社家であった平山了清が一族を引き連れて、苦勞して帖佐郷に下向し、帖佐八幡神社を創建したことを忘れないために始まったとされる。平山氏が没落するとさびれてしまったが、島津義弘が関ヶ原合戦から無事に帖佐に帰国出来た御礼として再興した。その後、度々途絶えてきたが、その度に再興され、平成12年に現在の形になり、今日まで引き継がれてきている。平成19年には市の無形民俗文化財に指定されている。令和4年に松原なぎさコミュニティ協議会と「子どもスマイル交流事業連携協定」を締結し、松原なぎさ小学校の児童も途中から巡行に参加している。</p> <p>(3) 構成 武者行列。子供たちは、陣羽織を着て長刀や神輿等を持ちながら、帖佐八幡神社から御門神社までの約5キロメートルを巡行する。途中から松原なぎさ小学校の児童も加わって御門神社まで歩く。</p>
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	地域の行事であり、市指定無形民俗文化財を伝承していくために、積極的に参加を呼びかけ、多くの児童や保護者、職員が参加した。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	 <p>陣羽織を着て巡行中</p>  <p>先生方や地域の方々も武者行列へ</p>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>○ 今年は、賽銭箱の担当だった。友だちと2人で持って歩くのはきつかったけれど、最後まで歩くことができた。大人になったら、鎧兜を着て歩きたい。【児童】</p> <p>○ 初めて甲冑を身に着けて参加しました。今の甲冑は数kgですが、当時の武将たちは、この数倍の重さの甲冑を身に着けて、数百kmの距離を移動し、しかも戦っていたなんて信じられません。【教職員】</p>